

平成21年4月期 第1四半期決算短信

平成20年9月3日

上場会社名 株式会社 伊藤園 上場取引所 東証第一部
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 代表取締役 社長 本庄 八郎
 問合せ先責任者 財務経理本部 副本部長 水野 俊作 TEL (03)5371-7205
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第1四半期の連結業績 (平成20年5月1日～平成20年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第1四半期	89,797	-	2,211	-	2,380	-	1,076	-
20年4月期第1四半期	86,548	8.3	5,044	6.3	5,100	7.2	2,645	2.2

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年4月期第1四半期	8	65	8	63
20年4月期第1四半期	29	68	29	56

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年4月期第1四半期	162,803		103,240		63.3		828	67
20年4月期	154,687		104,519		67.5		836	81

(参考) 自己資本 21年4月期第1四半期 103,102百万円 20年4月期 104,427百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については2ページをご覧ください。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
20年4月期	-	-	19	00	-	-	19	00	38	00
21年4月期	-	-	-	-	-	-	-	-	38	00
21年4月期(予想)	-	-	19	00	-	-	19	00	38	00

(注)1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

2. 上記の配当状況は普通株式に係る配当であり、第1種優先株式に係る配当の状況については2ページをご覧ください。

3. 平成21年4月期の連結業績予想 (平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	188,800	-	13,930	-	13,810	-	7,600	-	59	67
通期	352,000	7.3	21,450	11.5	21,130	16.0	11,530	14.2	89	84

(注)1. 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

2. 上記の予想1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る予想1株当たり情報については2ページをご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第1四半期 91,212,380株 20年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 21年4月期第1四半期 2,021,147株 20年4月期 2,021,407株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第1四半期 89,191,083株 20年4月期第1四半期 89,150,777株

(注)上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については2ページをご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年4月期	円 銭 - -	円 銭 24 00	円 銭 - -	円 銭 24 00	円 銭 48 00
21年4月期	- -	- -	- -	- -	48 00
21年4月期(予想)	- -	24 00	- -	24 00	

(2) 第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年4月期第1四半期	8	65	8	63
20年4月期第1四半期	-	-	-	-

	1株当たり純資産	
	円	銭
21年4月期第1四半期	828	67
20年4月期	845	61

(注)21年4月期第1四半期の第1種優先株式に係る1株当たり情報については、第1四半期会計期間に基準日が属する
剰余金の配当がないため、普通株式に係る1株当たり情報と同額となっております。

(3) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(予想)

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
第2四半期連結累計期間	64	67
通期	99	84

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年4月期第1四半期 35,246,962株 20年4月期 35,246,962株

② 期末自己株式数

21年4月期第1四半期 19,226株 20年4月期 16,106株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年4月期第1四半期 35,229,217株 20年4月期第1四半期 一株

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油及び原材料価格の高騰並びに輸出の伸び悩みを背景に、企業収益は弱含みのなかで推移しており、景気の先行きについては当面停滞を続けるものと思われます。

清涼飲料業界におきましては、年初の厳冬に引き続き、春以降にも低温・降雨に祟られるなど不安定な天候に悩まされ、7月の猛暑も春先の減速を挽回するまでには至りませんでした。

このような環境の中、当社は経営理念である「お客様第一主義」のもと、当社を取り巻く全てのお客様に対し、「お客様が今でも何を不満に思っているか」を常に考え、積極的な事業活動を行ってまいりました。

売上に関しましては、主力製品である日本茶飲料は順調に推移したものの、野菜飲料につきましては前年を下回りました。その反面、果実飲料等、新たな柱となる飲料ブランドの裾野が確実に広がりを見せた結果、売上高の総額は897億97百万円（3.8%増）と順調に推移しております。

利益面におきましては、昨年より続いております原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まりなど、収益を圧迫する要因が多いなか、積極的な営業を展開すると共に、第2四半期以降を見据えた中長期のマーケティング戦略を展開し、飲料市場におけるシェア向上を図るための投資を行ったため、営業利益22億11百万円（56.2%減）、経常利益23億80百万円（53.3%減）、四半期純利益10億76百万円（59.3%減）といずれも減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は1,628億3百万円となり、前期末と比較して81億16百万円増加いたしました。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が60億82百万円、「たな卸資産」が88億20百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース資産」（有形及び無形固定資産の「その他」に含んで表示）が40億7百万円、それぞれ増加し、「現金及び預金」が146億49百万円減少したことによるものです。

当第1四半期末の負債は595億63百万円となり、前期末と比較して93億94百万円増加いたしました。主な負債の変動は、「買掛金」が59億99百万円、「未払費用」が15億44百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース債務」（流動及び固定負債の「その他」に含んで表示）が43億19百万円、それぞれ増加し、「未払法人税等」が20億3百万円減少したことによるものです。

当第1四半期末の純資産は1,032億40百万円となり、前期末と比較して12億78百万円減少いたしました。主な純資産の変動は、四半期純利益により10億76百万円増加し、剰余金の配当により25億40百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末の67.5%から63.3%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、101億46百万円の支出となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益23億47百万円、仕入債務の増加が59億70百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増加60億27百万円、たな卸資産の増加87億86百万円、法人税等の支払い31億8百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、25億64百万円の支出となりました。主な要因は、固定資産の取得により18億98百万円支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億54百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払いを18億14百万円実施したことによります。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末と比較して146億49百万円減少し、78億99百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内経済の先行き不透明感から、引き続き厳しい経営環境が予想されますものの、穀物相場や原油価格の高騰も一段落し、改善の兆しも見え始めました。

当社グループといたしましては、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトに沿い、他社との差別化を図るとともに、当社の優位性を明確にし、より一層の厳しい品質管理のもと、お客様に喜んでいただける製品やサービスの提供を行い、業績の向上に邁進してまいります。

なお、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、今回見直しをせず据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

当第1四半期連結会計期間末におけるたな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

また、たな卸資産の処分に係る損失については、従来「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上総利益及び営業利益がそれぞれ215百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

④「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に39億33百万円、無形固定資産に73百万円計上されており、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,899	22,549
受取手形及び売掛金	34,145	28,062
商品及び製品	20,214	16,154
原材料及び貯蔵品	12,545	7,784
その他	12,760	10,502
貸倒引当金	△139	△129
流動資産合計	87,426	84,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,004	15,857
土地	14,102	14,077
その他	7,871	3,691
有形固定資産合計	37,978	33,626
無形固定資産		
のれん	14,940	14,682
その他	6,965	6,151
無形固定資産合計	21,906	20,833
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	15,492	15,303
固定資産合計	75,377	69,763
資産合計	162,803	154,687

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,449	24,449
未払費用	14,415	12,870
未払法人税等	1,443	3,447
賞与引当金	1,730	2,674
その他	2,957	1,942
流動負債合計	50,996	45,384
固定負債		
退職給付引当金	3,344	3,203
その他	5,222	1,580
固定負債合計	8,566	4,783
負債合計	59,563	50,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	70,997	72,537
自己株式	△4,882	△4,880
株主資本合計	106,286	107,828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	712	766
繰延ヘッジ損益	20	△11
土地再評価差額金	△3,069	△3,069
為替換算調整勘定	△846	△1,085
評価・換算差額等合計	△3,183	△3,401
新株予約権	17	17
少数株主持分	120	73
純資産合計	103,240	104,519
負債純資産合計	162,803	154,687

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年5月1日
 至 平成20年7月31日)

売上高	89,797
売上原価	45,349
売上総利益	44,447
販売費及び一般管理費	42,236
営業利益	2,211
営業外収益	
受取利息	16
受取配当金	28
為替差益	79
持分法による投資利益	25
その他	118
営業外収益合計	268
営業外費用	
支払利息	29
その他	70
営業外費用合計	99
経常利益	2,380
特別利益	0
特別損失	
固定資産廃棄損	29
その他	3
特別損失合計	32
税金等調整前四半期純利益	2,347
法人税等	1,224
少数株主利益	46
四半期純利益	1,076

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年5月1日
 至 平成20年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,347
減価償却費	751
のれん償却額	227
為替差損益(△は益)	△9
固定資産廃棄損	23
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△944
退職給付引当金の増減額(△は減少)	141
受取利息及び受取配当金	△45
支払利息	29
持分法による投資損益(△は益)	△25
売上債権の増減額(△は増加)	△6,027
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,786
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,195
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△137
仕入債務の増減額(△は減少)	5,970
未払消費税等の増減額(△は減少)	△80
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,335
その他	341
小計	△7,057
利息及び配当金の受取額	48
利息の支払額	△29
法人税等の支払額	△3,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△0
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,898
長期前払費用の取得による支出	△120
有形及び無形固定資産の売却による収入	3
関係会社株式の取得による支出	△540
その他	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△4
自己株式の処分による収入	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△136
配当金の支払額	△1,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,649
現金及び現金同等物の期首残高	22,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,899

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,333	77,700	4,762	89,797	—	89,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,333	77,700	4,762	89,797	—	89,797
営業利益	914	9,006	91	10,012	(7,801)	2,211

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉（リーフ）関連、飲料（ドリンク）関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

- ① 茶葉（リーフ）関連事業……緑茶・ウーロン茶等の茶葉（リーフ）製品
- ② 飲料（ドリンク）関連事業……日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料（ドリンク）製品
- ③ その他の事業……上記以外の製品及び仕入商品、食材等

3 会計方針の変更

（たな卸資産の処分に係る損失の計上区分）

4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)②に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失については、「営業外費用」に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて営業利益が、茶葉（リーフ）関連事業は44百万円、飲料（ドリンク）関連事業は168百万円、その他の事業は2百万円、それぞれ減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る連結財務諸表等

四半期連結貸借対照表（要約）

科目	平成20年4月期 第1四半期 (平成19年7月31日現在)
	金額（百万円）
(資産の部)	
I 流動資産	75,786
1. 現金及び預金	4,629
2. 受取手形及び売掛金	29,328
3. たな卸資産	28,222
4. その他	13,605
II 固定資産	64,872
1. 有形固定資産	29,258
(1) 建物及び構築物	13,126
(2) 土地	12,052
(3) その他	4,079
2. 無形固定資産	19,954
3. 投資その他の資産	15,659
資産合計	140,659
(負債の部)	
I 流動負債	50,074
1. 買掛金	31,046
2. その他	19,028
II 固定負債	4,413
1. 退職給付引当金	2,823
2. その他	1,590
負債合計	54,488
(純資産の部)	
I 株主資本	88,224
1. 資本金	12,655
2. 資本剰余金	13,002
3. 利益剰余金	67,512
4. 自己株式	△ 4,945
II 評価・換算差額等	△ 2,086
1. その他有価証券評価差額金	1,154
2. 土地再評価差額金	△ 3,098
3. 為替換算調整勘定	△ 142
III 新株予約権	33
純資産合計	86,170
負債純資産合計	140,659

四半期連結損益計算書（要約）

科目	平成20年4月期 第1四半期 (自 平成19年5月1日 至 平成19年7月31日)
	金額（百万円）
I 売上高	86,548
II 売上原価	41,748
売上総利益	44,800
III 販売費及び一般管理費	39,755
営業利益	5,044
IV 営業外収益	235
V 営業外費用	179
経常利益	5,100
VI 特別利益	0
VII 特別損失	14
税金等調整前四半期純利益	5,086
法人税等	2,440
四半期純利益	2,645

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

項目	平成20年4月期 第1四半期 (自 平成19年5月1日 至 平成19年7月31日)
	金額（百万円）
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,086
減価償却費	541
売上債権の増加額	△ 4,306
たな卸資産の増加額	△ 8,674
仕入債務の増加額	6,603
法人税等の支払額	△ 5,693
その他	△ 2,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,242
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△ 3
投資有価証券の売却による収入	0
有形固定資産・無形固定資産及び長期前払費用の取得による支出	△ 1,899
関係会社株式の取得による支出	△ 4,240
その他	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,111
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の処分による収入	0
配当金の支払額	△ 1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,775
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	10
V. 現金及び現金同等物の減少額	△ 17,118
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	21,748
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,629

事業の種類別セグメント情報

平成20年4月期 第1四半期(自平成19年5月1日 至平成19年7月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,887	75,385	4,275	86,548	—	86,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,887	75,385	4,275	86,548	—	86,548
営業利益	1,149	11,348	187	12,686	(7,641)	5,044